

# 沖縄県立名護特別支援学校



## 1. スクールミッション

各学部段階の教育内容の履修を基本に、一人一人の生活年齢を重視「生活年齢に即した指導を徹底する」教育及び障害の状態や特性等に応じた教育を通して、主体的・自立的に判断・選択する力、心身の調和的な発達、家庭生活及び社会生活に適応できる能力と態度、可能な限り積極的に自立し、社会参加・貢献する人間を育成する。

## 2. 本校のスクールポリシー

本校の教育活動のキャッチフレーズ“なかよく げんきに ほがらかに”生きる幼児児童生徒の育成を目指し、育てたい資質・能力を以下に示す。

### (1) グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ① 健康で明るく素直で、体調管理ができる幼児児童生徒  
（職業生活に必要な体力を付け、健康と衛生を自己管理する習慣や健全な態度を育てる）
- ② 自分のことは自分で責任を持ってできる幼児児童生徒  
（職業生活・社会生活に必要な基礎的知識と技能及び生活習慣の形成を図る）
- ③ 自分の立場や相手の気持ちを考えながら、仲間と協力して役割を果たそうとする幼児児童生徒  
（望ましい人間関係の確立を図り、適切な関わり方と協調性、情操豊かな心を養う）
- ④ 勤労意欲を持ち、将来の夢に向かって頑張る幼児児童生徒  
（職業生活に必要な能力と態度を養い、勤労意欲を高める）
- ⑤ 自分で考え、責任を持って行動し、社会参加を目指す幼児児童生徒  
（集団活動に積極的に参加し、社会に適応する能力を育てる）

### (2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施に関する方針）

教育課程は、学校の教育目標を達成するための教育計画であり、学習指導要領及び関係法令に基づいて、幼児児童生徒の障害の程度、特性及び一人一人の生活年齢を重視し、以下の事項について留意し編成する。

- ① 学校・各学部の教育目標を達成するために、幼児児童生徒の実態に即して指導内容を精選し、具体的に組織だて、適切な指導形態を十分に検討し、共通理解のもとに教育課程を編成する。
- ② 卒業後の社会参加がスムーズにできるよう、個別の教育支援計画・個別移行支援計画及び個別の指導計画を作成し、幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた支援・指導を進めるとともに、キャリア教育を通して、勤労観・職業観を身に付け、主体的に進路を選択・決定する力を培えるよう編成する。

### (3) アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）

自立し、社会参加・貢献する人間を育成するため、それぞれの学部段階において、以下の幼児児童生徒の育成に取り組む。

- ① 健康で明るく元気な人（健康的で明るくあいさつができる幼児児童生徒の育成）
- ② 自分のことは自分でできる人（身辺自立の確立と情緒の安定）
- ③ 友達と仲良くできる人（集団生活への適応性、望ましい人間関係）
- ④ ねばり強く、喜んで働く人（社会生活に必要な基本的生活習慣、進んで働く意欲と最後までやり通す態度）
- ⑤ 規則正しい生活ができる人（日常生活に必要な基礎的生活習慣）

